

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年5月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡県庁	代表者名	静岡県知事 川勝平太
担当者部署	経営管理部	連絡先電話番号	054-221-3709
担当者役職	主任	担当者氏名	金原 和哉
住所	420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「自治体DXとしての意識改革～今なすべきこと～」と題して、約80分の講演を実施していただいた。静岡県内の全35市町の総務・企画部長相当職等に対し、国における議論や静岡市及び裾野市の事例を踏まえながらDXの推進について、御講演いただいた。特に、当方の意向を反映していただき、市町が、DX推進に向けて「何をすべきか」という点について、重点的にご助言いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特記事項なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年4月28日	13時30分	14時55分		85
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	県内市町の総務・企画担当部長、情報政策担当課職員 等	76人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	行政デジタル化について、基幹17システムの標準化を令和7年度までに完了するなどの行程表が示されているが、市町から「何から手をつけて良いか分からない」という声がある。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	自治体DX推進計画を着実に実行すること。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	・DXを考える上で2つの視点(規定演技と自由演技)がある。 ・規定演技(法定部分)については、今後5年間で情報システムをガバナメントに移さなければいけない。 ・自由演技(本来のDXを考える部分)では、意識改革がポイント。ワークショップを行い、実際に手を動かすことが効果的。 ・今すべきことは、意識改革と現状把握。意識改革された新しい価値観で、現状を見て、どういう組織で変革するかというプロセスを整理しておくこと。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	・参加した各市町それぞれの状況に応じて、DX推進をするための気づきやきっかけになったと思われる。 ・職員の意識改革の重要性や現状把握など今なすべきことを中心にご助言いただいた。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	講演の内容について、今後、市町との検討を進める上で参考とする。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 県版DX推進計画の策定に伴い、今後、市町アンケートを実施する予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	県と市町が共通して抱える行政課題の解決	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

